

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー : アジア乱読 ILAS Seminar :Intensive Reading Seminar on Basics of Asian Studies			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Center for Southeast Asian Studies Professor,NAKANISHI YOSHIHIRO	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences			Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman)	20 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Thu.5
Classroom	Room202, East Building, Center for Southeast Asian Studies (Faculty of Medicine/Pharmaceutical Science Campus/University Hospital Campus)				Language of instruction	Japanese
Keyword	アジア / 多読の方法 / 精読の方法 / 積読の方法 / レビューの方法					
[Overview and purpose of the course]						
この授業には2つの目的があります。第1に、こういった本（をはじめとする文字情報の固まり）の読み方があるのか、いかにして何のためにたくさん読むのか、それを自分の知識や考えを更新していくためにどう活かすのかを学ぶこと。第2にアジアとは何かをそれぞれの関心から学ぶことです。アジアという地理的概念は広大な領域を含むものの、そこに何かしらの共通性があるわけではありません。もっとアジア（日本も含む）について知りたいな、くらいに関心がある学生であれば誰でも歓迎です。なお、この授業は読者好きだけを対象とした授業ではありません。本を読むと眠れなくなるほどのめり込む人も、本を読むとあっという間に寝てしまう人も、本を読みたい、読み方を知りたいと思うなら、受講できます。そうはいつでも、毎週のように課題が出るので、それをこなす根気は必要です。最終的には、特定のトピックについて複数の本を読みながら考え、そして書く作業につながります。						
[Course objectives]						
社会・政治・経済・文化を広く文献講読や輪読を通じて学び、多読や精読の方法について知り、筆者が書いていることを理解するだけでなく、自分で考えるために読めるようになる。アジアについて自分自身の関心を主に読書を通じて掘り下げることができるようになる。						
[Course schedule and contents])						
第1回 オリエンテーション 第2回 読書遍歴を話し合おう 第3－5回 精読って何？ 第6－8回 つなげ読み 第9－11回 多読のお作法 第12－14回 アジアを読みしばく 第15回 まとめ						
[Course requirements]						
None						
[Evaluation methods and policy]						
平常点（複数回の課題提出）・・・70％ 学期末レポート・・・30％						
Continue to ILASセミナー : アジア乱読(2)						

## ILASセミナー：アジア乱読(2)

### [Textbooks]

Not used

講読文献は教員が指示するが、受講生の希望や関心を考慮して授業内で決定する。

### [References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

課題文献は読んだことを前提に授業が始まりますので、頑張って読んできてください。

### [Other information (office hours, etc.)]

読んで議論する形式をとるので、質問、批判といった積極的な参加が求められます。少人数なので発言を求められることもありますし、執筆した自分の文章を参加者全員の前で読み上げることもあります。最初は恥ずかしくても徐々に慣れることが多いです。慣れるまで粘り強く取り組んで欲しいです。授業前にオフィスアワーを設けますが、コンタクトの仕方などはオリエンテーションで説明します。

### [Essential courses]